

NPO 富里のホタル

NPO法人 NPO富里のホタル 編集委員会 発行 2012.11.22 第27号

■ 「生きものが教えてくれること」 佐々木洋さん 富里で講演

台風が迫る 9 月 30 日、テレビ等でお馴染みのプロ・ナチュラリスト佐々木洋さんの講演会を開催。ユーモアあふれる巧みなトークに、会場全体が引き込まれ、あっと言う間の 90 分でした。

今の環境に適応しながら増えている生きもの達の、したたかで逞しい生き様や、驚くべき習性についてのお話。私達人間の間違った接し方によって、危機に瀕している生きもの達のお話。

我々が作りだした現在の環境が、どのような状態になっているのかを、生きものが教えてくれている…と述べられたように思いました。楽しいながらも、いろいろな事を考えさせられる講演会でした。

小さな子供さんを含め、ご来場下さった皆様、ありがとうございました。



● 佐々木洋さん 天神谷津を視察



講演前に、私達の活動拠点「天神谷津」を視察して下さいました。谷津の生きものについての興味深い解説と共に、様々な生きものを呼び込む方法についても、助言を頂きました。

又、このような場に、都会の子供達を連れて来てはどうか…との提言もあり、その際の協力の申し出も頂きました。実現出来れば意義のある事でもあり、それから派生する事もいろいろとあるように思います。今後、検討する価値はあるのではないかと考えます。

「ここでホタルが飛ぶ光景を、是非見たいものです。時期が来たら必ず情報を下さい。」とおっしゃって下さいました。天神谷津に群れ飛ぶホタルを見て、佐々木さんがどのようなコメントを下されるか、今から来シーズンが楽しみです。

報告 天神谷津の散策路さらに充実 市民活動支援補助金事業

天神谷津が、さらに歩きやすくなりました。外周の散策路から田んぼに降りる斜路や、水路を跨ぐ橋などの整備が完了。尚、この活動は富里市の「市民活動支援補助金事業」として認められ、資材費の 2/3 について、補助金の交付を受ける事となっています。これによる効果は絶大です。富里第一小の自然観察会では、子供達が水辺に近寄り、いろいろな田んぼの生き物に間近に接するようになりました。ホタル観賞の際には、観賞スポットが増えましたし、人の流れがスムーズになり、観賞渋滞が減りました。又、ホタルが飛び交う群れの中に、身を置けるような場所も出来ました。

これらの作業で、散策路整備はひと区切りとし、今後は、畔を含めた田んぼの水環境の整備に地道に取り組み、さらに生き物がたくさん棲める様な環境をつくり出したいと考えています。



雨の中でも手際よく作業が進む



最後の仕上げに気合が入る



完成した橋の前で記念撮影

報告 昔遊びと自然観察でお手伝い 富里第一小

今年も、三年生の秋の総合学習のお手伝いを行いました。まずは天神谷津で、18種類の生きものさがし。皆で協力しながら真剣に取り組んで、なんとか全種類を見つけました。その後は、笹舟づくりやザリガニ釣りに一所懸命でした。

校庭に戻ってからは、竹トンボ、パチンコ、竹ポックリなどの昔あそびを体験。短時間でどんどん上達する、子供達の遊びの才能には驚かされます。楽しそうに夢中で遊ぶ子供達の姿を見る事は、私達にとっても大きな喜びでした。



一番人気だったザリガニ釣り。一人でも何匹も釣り上げる子も。



アルコールを垂らすと勢いよく進む小舟に興味深々。



最初はおっかなびっくり。慣れてくると競走が始まる。



ドングリでパチンコ遊び。的を狙う姿勢が美しく見える。

予告 第6回通常総会について

第6回通常総会を下記のとおり開催する予定ですのでお知らせします。ご出席下さる様お願いいたします。

- 日時…平成25年2月17日(日)午後の予定
- 会場…中沢区集会場 (富里市中沢、向台幼稚園となり)
- 議事…事業報告、収支決算報告、監査報告、事業計画、収支計画など



★天神谷津★

いのち 生命のにぎわい

ヤクシソウ(薬師草)

11/3 撮影

秋も深まってきた頃、散策路入口の木道の脇で咲く、キク科の二年草。ほとんど花を見掛けなくなるこの季節、鮮やかな黄色で天神谷津を彩るヤクシソウのまわりだけは、まるで春が来たかの様です。撮影日にはキチョウが訪れ、盛んに蜜を吸っていました。

花咲く様子は豪華な印象を受けますが、近づいてみると一つ一つの花はとても可憐です。名前の由来は、葉の姿が薬師如来像の光背に似ているから、など諸説あるとのこと。斜面の裸地などの厳しい土壌条件でもよく育つ、パイオニア植物だそうです。

このあたりでは、陽当たりの良い乾いた林縁を好んで生育するそうですが、あまり見掛けません。森林が放置され、そのような場所が減ってしまっているからでしょうか？



会員紹介

みやくほ ゆきお 宮久保 幸雄 さん (66才)



1946年、川崎市(現)中原区で産声をあげました。越境入学をした小学校の裏手は旧多摩川の跡で、広大な釣堀となっていました。その先は小さな牧場、そして坂を上りきると多摩川の土手堤で、遠くには多摩山系が見え、当時汚れた空気に満ちていた臨海部に比べると、大変に恵まれた環境でした。長じて羽田空港で働き、結婚後ほどなくして、日本復帰直前の沖縄へ転勤となりました。当時のちっぽけな那覇空港に、今、当 NPO の中心となって活躍されている方が、異動されてきました。本土の若い男性がくれば、支店の女性陣がどのような反応であったかは、自明の理です。成田開港と共に羽田より移り、この富里の地に居を構えて30年を越えました。好きな飛行機に携わる代償として、足下の緑豊かな土地を見る余裕は無かったのです。仕事を離れる時に、前述の方からの入会の誘いに、ジュラルミンから自然へと方向転換ペダルを踏みました。

会員募集

★ ホームページ NPO 富里のホタル へのアクセスお待ちしています !! ★

<http://www4.ocn.ne.jp/~okgo/>

NPO 富里のホタルは、中央公園や谷津田で、ホタルの発生を指標とした自然保護活動を行っています。活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費:2000円)

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161

現在の会員数: 0155

事務局メールアドレス okamoton@themis.ocn.ne.jp